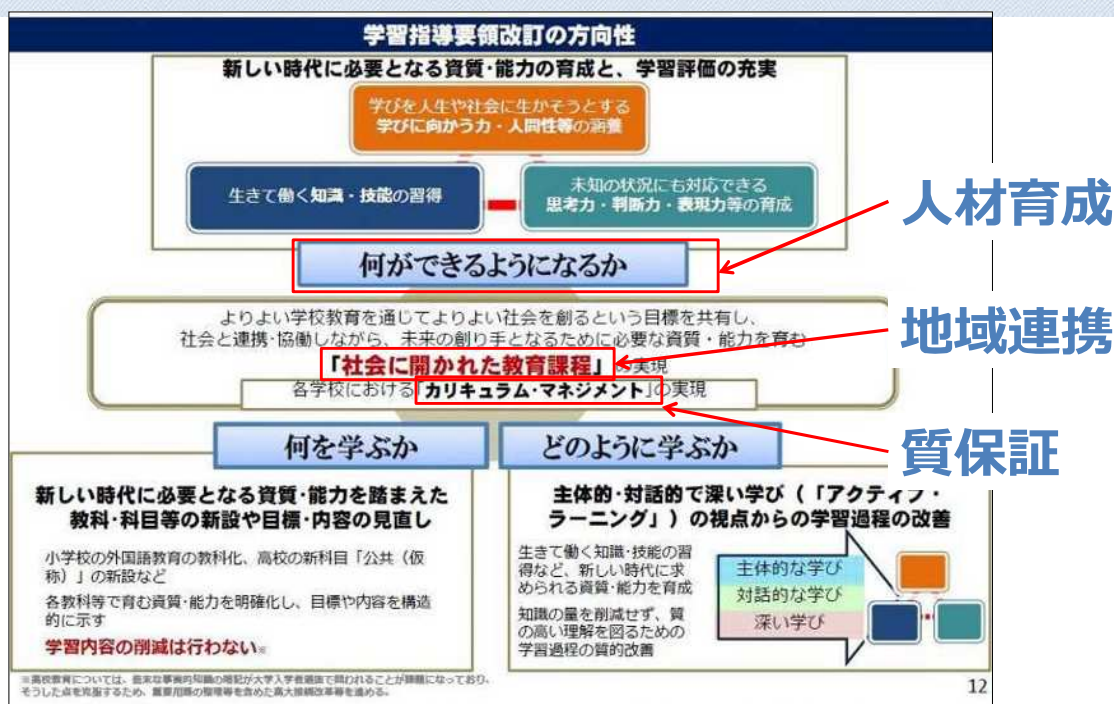




人材育成

地域連携

質保証

「新しい学習指導要領の考え方～中央教育審議会における議論から改訂そして実施へ」文部科学省より



© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.



数学	「数学活用」の廃止と「数学C」の設置。		
理数	「理数探究基礎」、「理数探究」の設置。 「数理探究(仮称)」から名称変更。 「総合的な探究の時間」の単位に代替できることも検討。		
情報	「社会と情報」(選択必修) 「情報の科学」(選択必修)	→	「情報Ⅰ」(共通必修) 「情報Ⅱ」
国語	「国語総合」(必修) 「国語表現」 「現代文A」、「現代文B」 「古典A」、「古典B」	→	「現代の国語」(必修) 「言語文化」(必修) 「論理国語」、「文学国語」 「国語表現」、「古典探究」
外国語	4技能総合型、発信能力育成型の科目に。		
地歴公民	「世界史A」、「世界史B」(選択必修) 「日本史A」、「日本史B」(選択必修) 「地理A」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治経済」(選択必修)	→	「歴史総合」(共通必修) 「日本史探究」 「世界史探究」 「地理総合」(共通必修) 「地理探究」 「公共」(共通必修) 「倫理」、「政治・経済」
総合的な探究の時間	「総合的な学習の時間」から名称変更。共通教材を初めて作成。 教科横断的な探究活動を重視。⇒理数探究の履修で代替できることも検討。		

使える統計
情報の科学的理解国語と
外国語の
連携強化地歴公民の
すべてに
共通必修
科目

探究活動・言語活動・情報活用能力の育成

※文部科学省／中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」より



© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.



①自力で道を切り開く「発想の自由人」を育成
②生徒の内省が目的のメタルブリックを作成
③やりたい研究が明確な八ヶ岳型の進路選択

2015年度に戸高中学校・戸高女子高校から改編し、併学化し、大胆な改革を実行。独自の21世紀型教育が、多くの保護者や生徒の支持を集めている。

私が入籍したのは校名改称の

[illegible]

式は、Aの「意識」を動かしています。また、研究がベースで進まないで選ぶには、現状で「選」が優先されて、章中の別章があっても、彼らの「選」が意識や思考を生かさない人達は、もう多くを占めています。生徒は「選」の大学であり、大学は「選」でなく「この大学でこれを選ぼう」という「選」の生徒が主であり、これは「選」の理合であるが、現代校風の「選」の理合でないでいます。この「選」の理合の人の入居の居場所を「選」と男女生を分離するのには、「選」と大学が「選」を維持してきているとを頼むつつ、生徒を湧り出させています。

田中潤

「Between」2019年9-10月号掲載記事より

19

- ①“探究”を教育のベースに置いた学校を設立
- ②探究型学習そのものが進路指導になっている
- ③AO・推薦入試での進学者が約半数

2014年に東京臨海副都心で初の中高一貫校として開校した東京臨海副都心中学校・高崎
少子化が進む地域で新設に臨み切った背景と、人口減少地域における探究型学習

島根県は人口減少、少子高齢

がし、講座では日本の文化をリードして、未来の日本を創る身に凝縮している地味な勉強が、この「カデツ」でもたらせるような、この「カデツ」でもたらせるような、愛知の未来を担う人材を育てる。愛知の未来を担う人材を育てる。愛知の未来を担う人材を育てる。

[illegible][illegible][illegible]

副校長
織田 澤 博樹
京大のわびさき通商貿易学部大卒。大学院修了
後製作所入社。おもちゃ・食料会社、イベント運営
社を経て、2012年資陽院・豊平学院・専修学校の教員
に就く。教員としてデザイン指導をベースとし
ながら、学生と向き合い、指導。

「Between」2019年9-10月号掲載記事より

海外大学進学実績（一部抜粋）

2018年度入試	アメリカ	Oregon State University	1人
	アメリカ	Central Washington University	1人
	アメリカ	Temple University	2人
	アメリカ	Santa Barbara City College	1人
	カナダ	University of Toronto	1人
	カナダ	Acadia University	1人
	カナダ	Fanshawe College	1人
	カナダ	North Island College	1人
	カナダ	Camosun College	1人
	イギリス	University of Sussex	1人
	イギリス	Birkbeck, University of London	1人
	イギリス	University of the Arts London	1人
	イタリア	Roma Tre University	1人
	タイ	バンコク大学	1人
	韓国	延世大学	4人
	韓国	慶熙大学	1人
	中国	上海交通大学	1人
	中国	復旦大学	1人
	台湾	淡江大学	1人
	台湾	銘傳大学	1人

関東国際高校

東京都渋谷区、〒160-8585 1学年約200人
 国内進学実績（2018年度）
 上智大学、立教大学、法政大学、明治学院大学など



黒澤 真晴
 校長
 東京都立大学大学院修士課程修了
 経営学修士、マーケティング学修士
 国際大学アジア研究センター長
 国際大学研究員、2013年

進路指導の国際化 海外進学という選択肢

<ポイント>

- ①2018年度入試では**34人が海外進学**
- ②**学校ネットワーク**で現地情報を収集
- ③**学びたいことをとことん突き詰めて考える**

海外大学進学実績（一部抜粋）

2018年度入試	アメリカ	Oregon State University	1人
	アメリカ	Central Washington University	1人
	アメリカ	Temple University	2人
	アメリカ	Santa Barbara City College	1人
	カナダ	University of Toronto	1人
	カナダ	Acadia University	1人
	カナダ	Fanshawe College	1人
	カナダ	North Island College	1人
	カナダ	Camosun College	1人
	イギリス	University of Sussex	1人
	イギリス	Birkbeck, University of London	1人
	イギリス	University of the Arts London	1人
	イタリア	Roma Tre University	1人
	タイ	バンコク大学	1人
	韓国	延世大学	4人
	韓国	慶熙大学	1人
	中国	上海交通大学	1人
	中国	復旦大学	1人
	台湾	淡江大学	1人
	台湾	銘傳大学	1人

「Between」2019年1～2月号掲載記事より

N高等学校 アダプティブラーニング 個別最適な学び

「N高等学校」は、通信制の高等学校です。生徒は自宅から、インターネットを通じて授業を受けます。授業は映像で行い、教員はコーチングに専念します。生徒は自分のペースで学び、自分の力で課題を克服します。N高等学校は、通信制の高等学校として、全国に多くの生徒が在籍しています。生徒は自宅から、インターネットを通じて授業を受けます。授業は映像で行い、教員はコーチングに専念します。生徒は自分のペースで学び、自分の力で課題を克服します。N高等学校は、通信制の高等学校として、全国に多くの生徒が在籍しています。

「N高等学校」は、通信制の高等学校です。生徒は自宅から、インターネットを通じて授業を受けます。授業は映像で行い、教員はコーチングに専念します。生徒は自分のペースで学び、自分の力で課題を克服します。N高等学校は、通信制の高等学校として、全国に多くの生徒が在籍しています。生徒は自宅から、インターネットを通じて授業を受けます。授業は映像で行い、教員はコーチングに専念します。生徒は自分のペースで学び、自分の力で課題を克服します。N高等学校は、通信制の高等学校として、全国に多くの生徒が在籍しています。

「N高等学校」は、通信制の高等学校です。生徒は自宅から、インターネットを通じて授業を受けます。授業は映像で行い、教員はコーチングに専念します。生徒は自分のペースで学び、自分の力で課題を克服します。N高等学校は、通信制の高等学校として、全国に多くの生徒が在籍しています。生徒は自宅から、インターネットを通じて授業を受けます。授業は映像で行い、教員はコーチングに専念します。生徒は自分のペースで学び、自分の力で課題を克服します。N高等学校は、通信制の高等学校として、全国に多くの生徒が在籍しています。

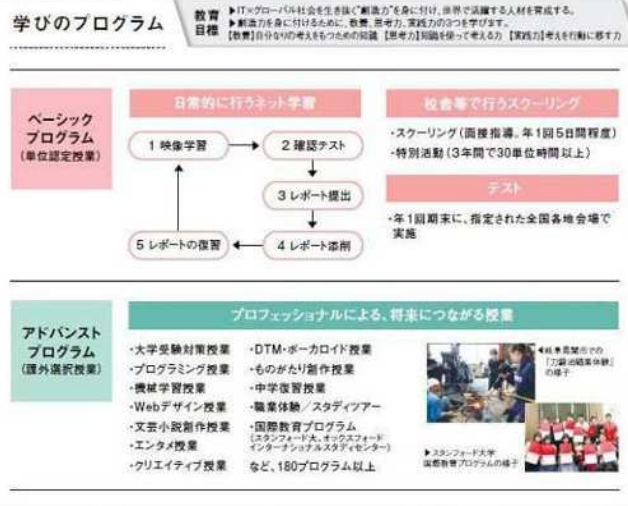
通信制×ネットの個別最適な学びで情熱を生む
 N高等学校
 アダプティブラーニング
 個別最適な学び



上木原 孝伸
 校長
 大阪府立大学大学院修士課程修了
 経営学修士、マーケティング学修士
 国際大学アジア研究センター長
 国際大学研究員、2013年

<ポイント>

- ①通信制×ネットで、**個別最適な学びを実現**
- ②授業は映像で行い、**教員はコーチングに専念**
- ③**何かに夢中になれる力**を持っている生徒



「Between」2019年9～10月号掲載記事より

① 全校で目標を統一
五商のブランドを形成

2010年代前半における東京都の商業高校は、志望者が1倍前後と減少し、中退率は普通科の約3倍に達した。多くの課題を抱えていた。その背景には、「3教科を履修できなかった」「普通科が入学できなかった」「進路の不明確な理由で入学する生徒が多かった」という現状があった。入学後、学習意欲が低いため、入学後も基礎力がつかず、結果的に進学・就職状況も好ましくないという悪循環になっていた。

この状況に対して東京都は、専門高校の教育内容を充実し、魅力ある学校づくりを行う改革を推進した。本校は、商業高校として果たすべき役割について課題を重く捉え、入学後、資格取得を軸に進学や就職の進路を定めていく。

② 五商ブランドの確立をめざして、一貫した目標を設定

専門知識を学ぶだけでなく、基礎力を定着させることは重要で、生徒には、進路目標をもち、主体的に学習することの大切さを伝えていく。そこで2011年度から、大企業経営者（白鷺）を導入し、この計画に基づき、進路指導は年間を通じて組織的に行っています。現在は進路指導と学習指導から「大企業経営者（白鷺）の力」を軸に、進路指導（小論文対策）と学習指導（面接対策）を中心として実施しています。

③ 学習指導に生かしています。指導内容の統一も重要で、定規歩調と教材を共有し、担当教員による授業内容・進度の差はありませんが、現在は評価基準を統一して、学力スタンダードを軸に科目ごとのルーブリックを作成しています。

これら指導の成果や生徒の理解の度、外部関係者で分析、定評を得るなかで、定評を得るにつれて、特色化がもたらした上向きサイクル

このような取り組みを進めながら、中退率も減少、欠席率も減少しました。何より大きな収穫は、本校の特色を理解して入学する生徒が増えたことです。今年の1年生も、資格取得をめざしたり、自分に向く大学を選んだり、主体的に学習に取り組んでいます。

東京都立第五商業高校 キャリアプランを基に主体性を育む商業高校へ



<ポイント>

- ① 資格取得を学びの軸とする「五商ブランド」
- ② 全教員で教育目標を共有し指導内容を統一
- ③ 資格取得を通してキャリア形成をする生徒

東京都が教育改革を推進



「Between」2019年9～10月号掲載記事より

	考え方	成功の鍵	高めるもの
人材育成	指導→支援	学修成果の可視化&統合	学生の自己評価力
質保証	改善→公表	学修成果の体系化	教育の特色
地域連携	自前→脱自前	学生にとって 学んだことの活用	学生の主体性等
		地域にとって 地域の将来像	地域の持続可能性

育てたい人材像の実現